

# 連結バランスシートによる県財政の分析について

## 1 経緯

平成18年 総務省の試案に基づき、普通会計に公営企業、地方三公社、出資法人を含めた連結バランスシートを作成し、公表。

## 2 作成目的

- ・資産と負債の関係を明確化
- ・関係団体等を含めた県財政に関する透明性の向上

|    |                 |
|----|-----------------|
| 資産 | 負債              |
|    | 資産・負債差額<br>(資本) |

## 3 作成基準・範囲等

- ・作成基準：総務省の作成基準（試案）
- ・連結の範囲：公営企業会計（6会計）、地方三公社（3団体）、県の出資比率25%以上の出資法人（31団体）
- ・財務諸表は県の資産、負債等の状況を明らかにし、コスト意識を持った財政運営を行うための参考として活用することが可能。

## 4 平成17年度の状況

資産は2兆7,483億円

### ・有形固定資産

2兆5,121億円（普通会計2兆2,089億円、企業会計2,098億円、公社等934億円）

### ・投資等

1,315億円（普通会計1,453億円、企業会計93億円、公社等129億円）

### ・流動資産

1,047億円（普通会計588億円、企業会計184億円、公社等281億円）

負債は1兆1,402億円

### ・固定負債

1兆515億円（普通会計9,322億円、企業会計822億円、公社等638億円）

### ・流動負債

887億円（普通会計585億円、企業会計58億円、公社等270億円）

資産・負債差額は1兆6,081億円

- ・本県の関係団体を含めた資産は、国庫支出金・一般財源など将来返済を要しない資産・負債差額が59%、地方債など将来返済を要する負債が41%で構成されている。

## 5 同級他団体における本県の状況

山梨県が属する財政力指数 0.3~0.4 のグループでBSを公表している12団体と比較（H16年度比較）

流動比率（流動資産 / 流動負債）

短期の負債に対する支払い能力を示す

山梨県 118.0（平均 102.1） 良い方から 4 位

固定比率（有形固定資産 / 資産・負債差額）

有形固定資産がどの程度自己資本で賄われているかを示す

山梨県 156.2（平均 183.7） 良い方から 1 位

自己資本比率（資産・負債差額 / 総資産）

総資産に対する自己資本の割合を示す

山梨県 58.5（平均 50.8） 良い方から 1 位